

山中城跡、向山古墳群整備活用事業

アナ： 「市長が語る 2025 三島」第16回の今日は、「国指定史跡 山中城跡、静岡県指定史跡 向山古墳群整備活用事業」についてお話を伺います。
豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 「山中城跡」は数年前の台風や大雨で被災し、復旧事業を行っていると聞いていますが、現在はどうのような状況でしょうか。

市長： 令和元年10月の台風と令和3年7月の大雨の際、障子堀という遺構（いこう）の一部が崩れるなどの被害を受けました。

そこで現在、このような被害を未然に防ぐための排水施設を新たに整備するなど、より災害に強い史跡とするための復旧工事を行っておりますが、復旧には、文化庁と静岡県からの補助金を活用して、確実に進めてまいります。

アナ： 復旧にはどのくらいの時間がかかりますか。

市長： 工事全体につきましては、令和8年度中の完成を目指しております。

アナ： なるほど、復旧には時間がかかるということですね。
では、向山古墳群についてはどのような事業を予定されていますか。

市長： 向山古墳群は現在、県の指定文化財になっております。中でも第16号墳は、歴史的な価値が高いため、国の史跡に指定されることを目指した発掘調査などの事業を予定しております。

アナ： どうすれば国の指定を受けられるのでしょうか。

市長： 現在、第16号墳全体の形状がどうだったのか、まだはっきりとわかっていません。形状をはっきりさせるための発掘調査を令和元年度から行っております。今後、数年をかけて、発掘調査で分かったことをまとめ、国へ史跡指定を提案する予定です。

アナ： 国の史跡に指定されるとより多くの観光客が訪れる可能性がありますね。

市長： その通りです。三島市に価値の高い史跡が残っていることをより多くの方に知っていただき、訪れていただきたいと考えています。また、観光客の方々だけでなく、市民の皆様にも郷土の歴史への関心を高めていただけるように活用事業を展開していきたいと考えております。

アナ： より多くの方に三島の歴史に触れていただくということですね。
具体的にはどのようなことを予定されていますか。

市長： 山中城跡に関しては、令和4年度に保存活用計画を作成しました。
この計画では、災害からの復旧事業に関してはもちろん、地域において活用していくことを定めています。令和6年度は、元発掘調査団長などをお呼びした講演会を開催し、大変多くの方にご参加いただきました。

令和7年度も引き続き、市民の皆様向けの講演会の開催を予定しております。

向山古墳群では、第16号墳の発掘調査を行った際に、現地説明会を実施しております。令和6年度も実施しましたが、掘り起された古墳を直接見ることもできる大変貴重な機会です。

今年度も発掘調査及び現地説明会を実施する予定ですので、ぜひ多くの方に足をお運びいただきたいと思います。

アナ： どちらも大変興味深い内容で、ぜひ参加してみたいです。

市長： 令和6年度に実施した講演会、現地説明会は大変好評で、どちらも定員を超えるほど多くの方にお申し込みいただきました。

今年度もさらに多くの方に関心を持っていただけるような内容で開催していきたいと考えております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。